



貝泊小・中学校だより

平成26年1月9日発行

第19号

いわき市立貝泊小・中学校



「その1秒を…」残り少ない学校生活を充実したものにしていこう!

18日間の冬休みを終え、すがすがしい朝日を浴びて、50日間の3学期が始まりました。

子どもたち、保護者・地域の方々、先生方には健康で幸せな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

さて始業式では、1月2日・3日に行われた箱根駅伝で東洋大がチームのスローガンとして掲げていた「その1秒を削りだせ!」をもとに、貝泊小・中学校で過ごす残り少ない時間を大切にしてほしいということ子どもたちに話しました。

ご承知の通り、今年度本校に在籍する子どもは、小学6年生と中学3年生です。それぞれ、この3学期に小学校生活の6年間と中学校生活3年間の集大成をむかえます。加えて、統廃合を控えた貝泊小・中学校にとっては、最後の50日間となります。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」の言葉どおり、3学期は、あっという間に過ぎていくものです。1日1日、1秒1秒を大切に過ごし、春には、今日の日差しのように晴れ晴れと充実した気持ちで、卒業の日を迎えてほしいと願っています。

冬休み中、事故やけが・病気等もなく、子どもたちが、各家庭や地域で有意義な生活がおくれましたこと、保護者並びに地域の皆様に心より感謝申し上げます。

3学期も「子どもがいるから学校があり、学校があるから私たち（教師）がいる。」をモットーに、「はじめに子どもありき」で頑張ってください。

昨年に引き続き、変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



2学期の反省と3学期の抱負



12月20日(金)の第2学期終業式と1月8日(水)の第3学期始業式でそれぞれ、代表児童・生徒による「2学期の反省と3学期の抱負」の発表がありました。発表の内容はもちろんのこと、学年の代表にふさわしい堂々とした発表の仕方にも、拍手を送りたいと思います



第9回授業研究会

12月16日(月)の5校時、中学校3年英語科の研究授業がありました。今回の授業のねらいは、「関係代名詞whoを使って、人について詳しく説明する」です。

授業中の会話は、そのほとんどが、英語を使っています。また、電子黒板を使ったデジタル教科書を活用することで、生徒に学習の内容をわかりやすくする工夫もなされていました。

授業のまとめでは、関係代名詞whoを使って、先生の紹介をすることができました。



風邪・インフルエンザ予防対策

インフルエンザの流行が心配される季節となりました。

今年は、今のところ市内の小・中学校でのインフルエンザ流行の話は聞こえてきません。しかし、気温も下がってきて、季節性インフルエンザの流行が気になるところです。

12月13日(金)には、学校薬剤師の廣島弘美様に教室内の二酸化炭素濃度検査をしていただくとともに、こまめな換気の仕方についてご指導いただきました。

学校では、毎時間ごとの換気はもちろん、手洗い・うがいの励行と十分な休養を呼びかけています。ご家庭でも、お子さんへの言葉かけをお願いします。



安全第一!凍結した道路はゆっくり・ゆったり・ゆとりの運転を

本格的な冬を迎え、凍結した道路での運転には注意が必要な季節となってきました。

お子さんの通学に際しては、何よりもまず安全第一!

お気をつけて、ゆっくり・ゆったり・ゆとりの運転を心がけていただきたいと思います。なお、登校に遅れそうなときは、学校までご一報をいただければ幸いです。



漢字・計算博士コンテスト

12月4日(水)に漢字・計算博士コンテストが行われました。本校では、学習の基礎的・基本的な内容の定着を図るため、毎学期末に「漢字・計算博士コンテスト」を実施しています。2学期に学習した漢字と計算のテストに真剣に取り組む子どもたちの姿が見られました。

